

理工学府及び理工学部の ジェンダー・ダイバーシティ特集

理工学府・理工学部では2016年度より「理工学府・理工学部男女共同参画推進委員会」を他部局に先立って設立し、2021年度より「理工学府及び理工学部ダイバーシティ推進委員会」と改称しました。教員組織である部門のすべてが協力し、性別の差だけでなく、国籍・宗教などの多様性を超えた環境整備に取り組んでいます。本特集では「理工学府及び理工学部ダイバーシティ推進委員会」の取り組みをご紹介します。

委員会設立当初は女性教員の増加が大きな課題でした。女性限定公募などにより全部門で女性教員の採用が増加し*、2013年度では2.1%であった女性教員の在籍比率は、2019年度には6.2%に、2025年度現在は12.1%と約6倍となりました(図1)。

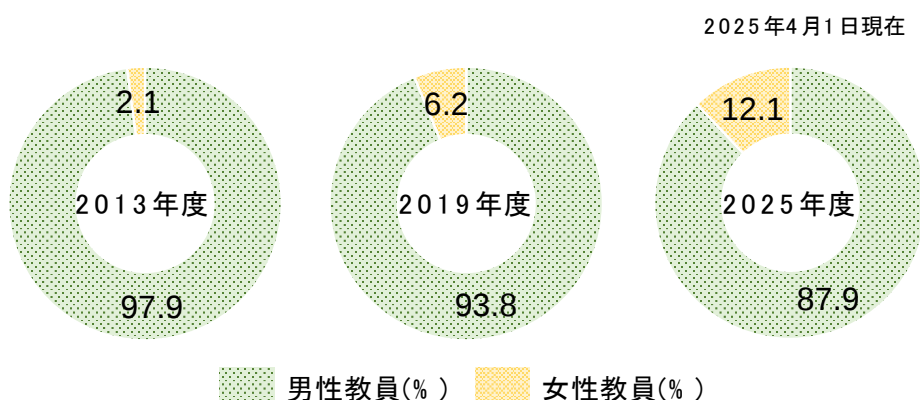


図1. 理工学府・理工学部に在籍する教員の男女比率の推移

教員の上位職への積極的な登用を促進する取り組み

取り組み1 論文を書こう～情報交換しよう～

本学の研究員・助教・講師・准教授を対象とし、学内の研究者と情報交換や論文を執筆する「自分のための時間」作りのため、2024年度より原則毎月最終週の水曜日に理工学部まゆだま広場を開放しています。



論文を書こう～情報交換しよう～

先生方は、講義・学生指導・事務仕事に日々奮闘され、お忙しいことと思います。また研究員の皆様の中には、論文執筆の時間確保に苦慮されている方もいらっしゃるかもしれません。そこで、他の研究者の皆さんと情報交換や論文執筆をする「自分のための時間」を作り、有意義に過ごしませんか。まゆだま広場での雑談もよし、論文の構想を練る、文献を検索する、本文を執筆する、などでもよし。研究者の方との交流や論文を執筆する「時間づくり」の提案と「場所」の提供を行います。
(執筆・投稿に関する指導などは行いません)

論文を書こう。



情報交換しよう。



おしゃべりしよう。



2024年 5月22日(水)
6月26日(水)
7月24日(水)

15:00～17:00 (出入り自由)
理工学部まゆだま広場・総合研究棟506教室

【対象】 群馬大学の研究員・助教・講師・准教授
(学生は対象としません)

【お申し込み】 お申し込みは不要です。当日お越しください。

主催：群馬大学理工学府及び理工学部ダイバーシティ推進委員会

群馬大学ダイバーシティ推進センター

まゆだま

通信

News Letter

2025.10
vol.38

発行
国立大学法人群馬大学
ダイバーシティ推進センター

〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町4-2
TEL: 027-220-7143
Email: kyodo-sankaku@ml.gunma-u.ac.jp
HP: <https://diversity.gunma-u.ac.jp/>



取り組み2

スタートアップ支援

理工学府に採用された女性研究者と所属部門に対し、1人あたり20万円を研究費として、1部門あたり20万円を部門共通経費として支給します。

*JST女性研究者研究活動支援事業(一般型)「薊玉(まゆだま)プラン」、ダイバーシティ研究環境実現イニシアチブ事業「まゆだまプラン アドバンス」による支援から継続中。

女子学生の増加に向けた取り組み

女性教員の増加だけでなく女子学生の増加に向けた活動も積極的に行い、2025年度の現在、理工学部の女子学生の在籍比率は25%以上、大学院においても20%以上を占めています(図2)。

女子学生の増加や大学院進学率の向上のための取り組みや、学生の学業への集中と成長を支える基盤づくりの一部を紹介します。

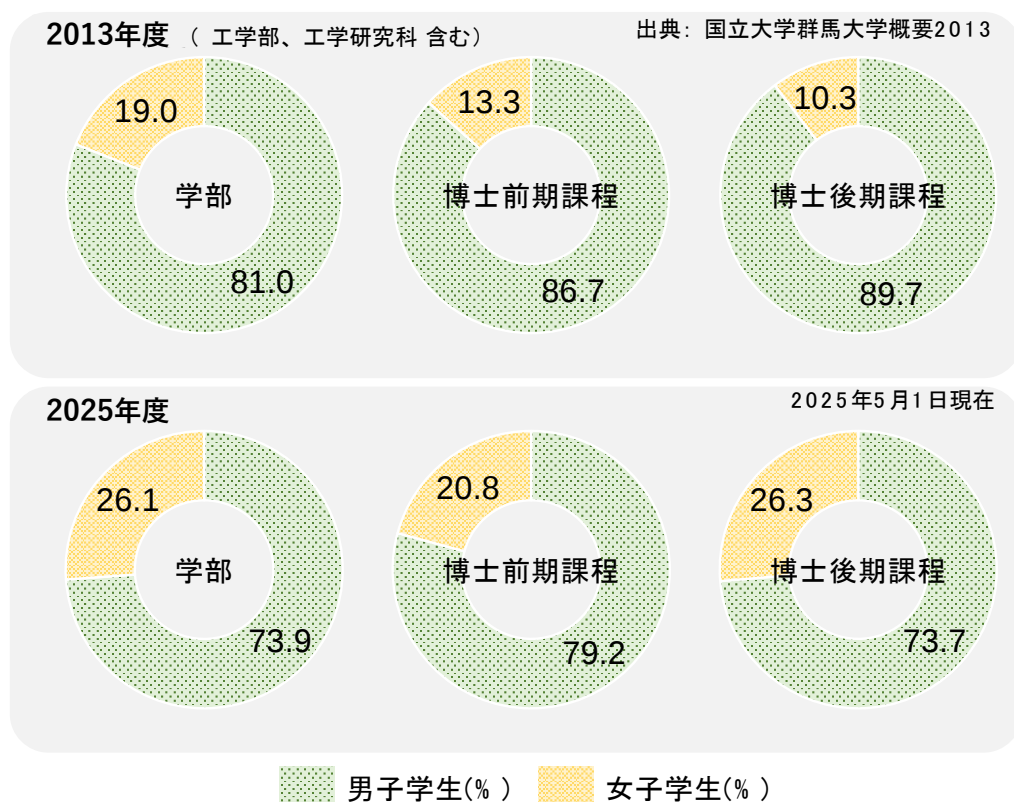


図2. 理工学府・理工学部(工学部、工学研究科含む)に在籍する学生の男女比率

取り組み3

先輩リケジョとゆるゆるトーク

理工学部オープンキャンパスにて現役の理工学府および理工学部の女子学生と女子高生とが自由なトークを楽しむイベントを10年ほど毎年開催しています(コロナ禍を除く)。2023年度より「先輩リケジョとゆるゆるトーク」と改称し、参加した女子高生とその保護者が大学生活の雰囲気を実況学生から直接聞くことで、理工学部に慣れ親しんでいただくための場となっています。



取り組み4

大学院進学を考える講演会

毎年秋に、大学院進学後のロールモデルとして若手女性教員、大学院修了生、現役大学院生、両立支援アドバイザーより、大学院在学中の経験や修了後のライフスタイルについて講演をいただいています**。10年ほど続く本講演会は当初、理工学部3年生の女子学生を対象としていましたが、現在は理工学部の全学生を対象としています。大学院在学中の具体的な経験談は参加者の進路決定の判断材料となっています。

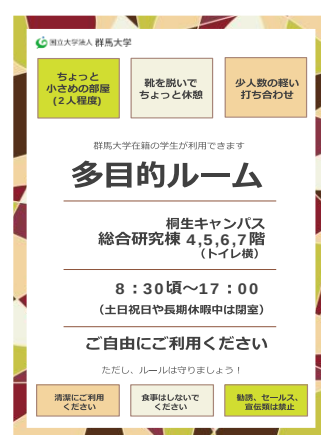
**群馬大学ダイバーシティ推進センターとの共催



環境整備1

多目的スペース

2021年度学部長裁量経費により総合研究棟4-7階に、休憩や打ち合わせ等の利用を目的として本学在籍の学生が利用できる多目的ルームを設置しました。2名程度の小さな部屋で靴を脱いで利用します。



環境整備2

生理用品の設置・性に関するウェブサイト案内

2022年度より生理用品の設置を整備しました***。事務室のある建物の1階もしくは2階のトイレに、必要な学生はどなたでも利用できることを多言語(日本語、英語、中国語)で記載したポスターの掲示とともに容器にいれて設置しています。また、2024年度にはセシル(性に関する悩みに医師等の専門家が答えるサイト)の紹介ポスターやDVチェッカーを男女トイレの個室に設置しました。

***理工学・大学院理工学府後援会による助成



理工学府及び理工学部ダイバーシティ推進委員会では、エレベーター内の鏡の設置****やトイレ内へのフィッティングボードの設置****、ワーク・ライフ・バランスとキャリアアップに関するアンケートの実施(2019年度)や独自のホームページの開設(2025年度予定)など、環境の改善に必要なニーズの調査やワークライフバランスなどに対する意識改革・情報発信を行っています。今後も就学や業務に専念しやすい環境整備に取り組んでまいります。

****学部長裁量経費による助成

報告

● ダイバーシティ推進センター女性研究者共同研究促進助成 採択者

- ・片山 佳代子（情報学部 准教授）
- ・服部 奈緒子（生体調節研究所 教授）
- ・川崎 愛理（理工学府 助教）
- ・伊藤 歩美（未来先端研究機構 助教）

今後の予定

● ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク講演会

11月4日(木) 15:00~16:00 オンライン開催 対象:教職員

共愛学園前橋国際大学のダイバーシティ推進センターについて紹介していただきます。

● 大学幹部・教職員FDセミナー

11月20日(木) 13:00~14:10 オンライン開催 対象:教職員

国立大学で女性研究者の在籍比率が最も上昇した岩手大学の取組を紹介していただきます。

● 「研究活動支援事業」11月中に募集開始

詳細は、後日メールでお知らせします。



● ダイバーシティ推進センター トークセッション

12月22日(木) 14:30~16:00 オンライン開催 対象:教職員・学生

「介護について知ろう 共有しよう つながろう」

● 性の多様性講演会 1月6日(火)

1月6日(火) 14:20~15:50 オンライン又は講義室で参加可

対象:教職員、学生※1

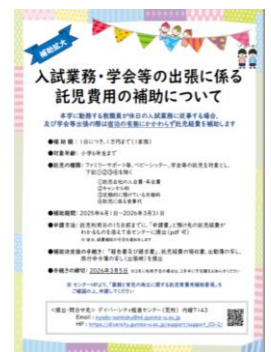
「多様性ってなんだろうー互いの違いを尊重できる社会を目指してー」

※1 今年度後期にジェンダー論またはジェンダー入門を履修していない学生



● 入試業務・学会等の出張に係る託児費用の補助

本学に勤務する教職員が入試や出張などの業務を命じられた際に、託児等にかかる費用を一部補助しています。随時、受け付け中。



【編集後記】

38号では、理工学部・理工学府のジェンダー・ダイバーシティ推進に向けた取り組みを特集記事として掲載しました。理工のダイバーシティ推進委員会の先生方、ご協力ありがとうございました。当センターでは、今後も有益な情報発信に努めてまいります。